

レストランサービス業界を担うホープたち

技能グランプリ(レストランサービス職種)の優勝者に聞く

2年に一度開催される「技能グランプリ」(レストランサービス職種)はレストランサービスに従事する人にとって憧れの舞台。(次ページにて第30回大会の詳細をご案内)厚生労働省及び中央職業能力開発協会、一般社団法人全国技能士連合会が共催するこの大会は、技能士の技能向上を計るとともに、地位の向上と技能尊重気運の醸成に資することを目的に、技術者が技能の日本一を競う大会です。本号では前回2017年第29回技能グランプリレストランサービス職種部門において金賞を獲得し、同時に全部門から特に優秀な成績を収めた選手に贈られる、内閣総理大臣賞を受賞した山本文太氏にご登場いただきました。



山本文太氏 (ヤマモト ブンタ)

1985年生まれ、静岡県静岡市出身。地元静岡市のホテルに就職し、ハイアットリージェンシー箱根リゾート&スパへ。現在はハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄(開業準備)に勤務。

1級レストランサービス技能士
シニアソムリエ

と思います。100人いたら100通りの答え、1000通りの考えがあるような、考える仕事であることが楽しさだと思います。

Q6 今後の目標をお聞かせください。

目標を掲げて、小さいことでも達成して成長すること。また若手やチームにとっても同じように目標を掲げ、達成することの楽しさを伝えてあげて、仕事の楽しさを伝えていきたい。ロボットや機械の技術がかなり進んでいますが、合わさって素晴らしいサービスが出来るようなチーム、業界を作りたいです。

Q7 最後に後進の人たちにメッセージをお願いします。

私が頑張っているのは今まで出会えてきた先輩や仲間、皆のおかげ。人との出会いを大事にして感謝して成長してください。私とそのきっかけになれるのでしたらお手伝いさせていただきます。ぜひお声掛けください。そして一緒に業界を盛り上げていきましょう。宜しくお願い致します。

Q1 レストラン業界に入ったきっかけは?

小さい頃から駅員になるのが夢でしたが、高校在籍時に夢が叶わず挫折しました。投げやりな日々を送っているときに、知り合いの紹介でホテルに入社することになったのがきっかけです。料飲部に配属しそこからキャリアがスタートしました。最初は正直あまり関心の無い仕事でしたが、学歴やテストの成績で決して比較できない仕事というものが楽しく思えるようになりました。

Q2 技能グランプリに出場しようと思ったきっかけは?

一番大きなところは目標設定。自分自身、日々目標が無いとだらけてしまう怠惰な人間だということを知っているため、目標を明確に設定することで努力をするきっかけが欲しかったから。「日本一のサービスマンになりたい」とかそういった思いは無く、必死になるための通過点が欲しかったからです。

Q3 出場に向けてどのような準備をしましたか?

二年前にも同じ大会にチャレンジし

て、自分に足りないものを気付かせてもらえました。それを二年後に向けて埋めていくという思いで常に準備していました。後悔をしたくないと思っていたので、言い訳出来ないよう、自分で逃げ道は作らないように考えていました。周りからのバックアップもたくさんいただいたおかげで、万全の準備も出来、必ず優勝するという強い気持ちで日々を過ごしました。

Q4 優勝した時のお気持ちと、優勝後の変化を教えてください。

まずは周りへの感謝。自分の力では無く、周りの協力があつたから達成できたこと。だからこそ自分自身は一つ階段を上げてもらった、ただそれだけの感覚です。たまたまいい評価をしていただけただけであって、自分がこれで日本一のサービスマンだとは思いません。もっと努力しよう、更にそう思っています。

Q5 レストランサービスの楽しさとは?

毎日が違うシチュエーション、毎日が違う出来事、追い求めれば追い求めるほど退屈など出来ない忙しい仕事。これで自分は完璧だ、そう思ってしまった時点でその人のゴールは見えてしまう

